

## 「情報科」学習指導案

1. 日時 令和6年11月21日（木） 第4時限（ 11：25 ～ 12：05 ）

2. 場所 高等部 教室

3. 学部・学年・組 高学部

4. 単元（題材）名 単元：情報デザイン

題材：プレゼンテーションアプリの活用「私の好きなものプレゼンテーション」

5. 単元（題材）目標

- ・コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方や情報の伝達手段を知る。（知識・技能）
- ・コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現する力を養う。  
（思考力・判断力・表現力）
- ・身近にある情報や情報技術を活用しようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

6. 生徒観

本学習グループは、個々に学習の進捗に差はあるが、グループ全体として学習に対するモチベーションが高く、前向きに取り組む姿勢が見られる。

学習面では、生徒間に習熟度の開きが大きく、課題によっては段階的なアプローチが必要となる。また、特定の場面では個別対応が求められることもある。学習内容は生徒の実態に応じて、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示）の職業・家庭科の中学部第2段階から、特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示）の情報科の高等部第2段階の内容を行っている。

コミュニケーション面では、教師や同じ学習班の生徒間のやり取りは十分に行うことができる。しかし、相手の話を聴くことよりも、自分のことを話す傾向が強いため、特にグループワークでは配慮やルール設定が必要である。授業中は積極的に発言する場面が多い一方で、学力面に対する自信のなさや不安感から、発表の場やグループワーク中での意見交換には消極的になることがある。

情報デザインを考える過程で、「資料のわかりやすさを追求すること＝聞き手側の視点に立つということ」への気づきを促したい。また、本単元の最後の授業に発表の場を設け、他者に伝える過程を通してより深い理解を得ることができることに加えて、他者の発表を聞くことで、自分では思いつかなかった表現方法などの視点を得ることができ、共に学ぶ環境を設定する。

7. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
<p>① 情報を伝えるときに大切なデザインの基本について理解している。</p> <p>② プレゼンテーションアプリの基本的操作ができる。</p> <p>③ スライド作成において、情報の伝達手段それぞれの特徴を理解している。</p>	<p>① 情報を効果的に伝えるためにデザインをどのように工夫して表現すべきかについて考えることができる。</p> <p>② 伝える内容ごとに適した手段について工夫し表現することができる。</p>	<p>① 表現の違いによってどのように印象が変わるかについて考えようとしている。</p> <p>② 身近にある情報デザインの例や用いられている手法を主体的に探そうとしている。</p>

本単元の指導事項は、特別支援学校学習指導要領において以下の通り示されている。

<p>&lt; 中学部第2段階 &gt;</p> <p>B 情報機器の活用</p> <p>職業生活や社会生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れること。</p> <p>イ コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現すること。</p> <p>&lt; 高等部第1段階 &gt;</p> <p>B コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>身近なメディアとコミュニケーション手段及び情報デザインに着目し、目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知ること。</p> <p>(イ) 身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を知ること。</p> <p>(ウ) 身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する基礎的な技能を身に付けること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えること。</p> <p>(イ) コミュニケーションの目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えること。</p> <p>(ウ) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて、表現の仕方を工夫すること</p>
--

本単元では、「情報機器の基礎的な操作」と「受け手に分かりやすく情報を伝える」ことを主な指導目標としている。PCではなく、タブレット端末（iPad）を使用することで、身近な情報機器への興味・関心を引き出すことを狙いとしている。また、題材としては「自分の好きなもの」をプレゼンテーションテーマに選び、取り扱いやすさを重視している。プレゼンテーションアプリには、直感的な操作が可能な「Keynote」を使用する。

学習の流れは、次の4つの段階で構成される。まず、企画とスライドデザイン作成（Plan）、次に発表練習と本番（Do）、その後、自己評価（Check）、最後にスライドデザインの修正（Action）を行う。このプロセスを通じて、実際に体験しながら「受け手に分かりやすく情報を伝える」ために、文字や画像などの視覚的な要素の効果的な活用法を学び、理解を深めていくことを目指している。

8. 単元の指導と評価の計画（全10時間、本時は第9時）

次	時	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1	1	① 本単元の説明  ② 情報デザインについて	・目的、内容、全体的な流れについて説明する。  ・「文字」「音声」「静止画」「動画」の特徴を比較しながら整理し、それぞれについて理解を促す。	A① C①②
2	2-4	③ 「企画ワークシート」の作成① ・発表テーマ ・発表の構成  ④ 「企画ワークシート」の作成② ・スライドデザイン	・各自話す内容を複数考えながら発表テーマの精選を行う。  ・例のスライドを示しながら発表の順番について構想をイメージしやすくする。  ・例のスライドを示し、「文字」「音声」「静止画」「動画」の特徴について視覚的に確認を行い、自信のスライドデザインを検討する。	A①  A③ B①
	5.6	⑤ アプリの操作説明  ⑥ スライド作成 ・ワークシートをもとにスライド作成を行う。	・タブレット端末を配付し各自操作しながら動作確認を行う。  ・チェックリストを活用し、計画通りに作成するように促す。	A②  A③ B②
3	7.8	⑦ 発表練習 ・発表→修正	・発表の練習を振り返り、デザインの試行錯誤を繰り返しながら文字や画像等の活用について考えるように促す。	A②③ C①
	9.10	⑧ 発表 ・評価シートの記入  ⑨ 振り返り	・自己評価と他者評価を行うことで、文字や画像等の活用について学びを深められるように促す。	A②③ B②  C①②

## 9. 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・タブレット端末を操作して発表することができる。
- ・聞き手に分かりやすく情報を伝えるためのデザインの工夫点を発表することができる。

### (2) 本時の評価規準

- タブレット端末を操作して発表することができる。
- 受け手のことを考慮してデザインを工夫し、表現することができる。
- 工夫点を伝えようとしている。

### (3) 本時の ICT 活用のポイント（活用のねらい、工夫する点）

- ・電子モニターに流れやルールを示し視覚的支援を行う。

### (4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準 (評価方法)
5分 導 入	① 挨拶 出欠確認  ② 本時の説明 ・本時の流れ ・発表中のマナー ・評価シート	・電子モニターに示す。(ICT)  ・発表中の聴き手側のルールを設定し、発表しやすい環境設定を行う。  ・発表中は発表に集中し書き込みはメモ程度、本時の最後に記入時間を設けることを伝える。	
25分 展 開	③ プレゼンテーション発表 テーマ「私の好きなもの」 *1名最大5分程度で予定	・スライドデザインの工夫点も加えて発表することで、聴き手側に工夫点が伝わるようにする。  ・聴き手側のリアクションを促し、発表しやすい環境作りを行う。	A②③ B②
10分 ま と め	④ 評価シート ・配付、記入、回収  ⑤ 次回の説明 ⑥ 挨拶	・記入する際の留意点を説明する。	C①